

令和7年度 第1回 NPO法人益田自立支援センター えびす運営推進会議

日 時： 令和7年6月24日（火）14時～14時30分

場 所： ふるーるきっず 多目的ルーム （えびす隣接）

参加者（人数）：

利用者	1人	知見を有する者等	1人
利用者家族	1人	益田市職員	1人
地域住民の代表	1人	施設職員	2人

1. 自己紹介

2. 統括施設長挨拶

3. 事業所の活動状況報告 2025年1月～6月 実績 (R7.6.20現在)

・利用者状況
(登録者数)

事業対象者	4	要介護1	9
要支援1	6	要介護2	1
要支援2	3	要介護3	2
小計	13	小計	11
合計		24名	

- ・新規利用開始 5名
- ・利用中止4名=入院1名、他施設へ2名 逝去1名
- ・小野地区より8名利用中（他地区：横田、中西方面）
- ・保険外（体験）利用者 3名程度（1回／月 1回／2週）

○新規利用開始の最近の傾向として、喜阿弥町の方が4,5月から2～3名入
られている。えびすが家の近くにあるということも理由の一つ。

○利用者全体の内、小野地区からは8名利用。

○退会された方の内訳は、病氣体調不良、病氣等で入院したが退院できない方、
長時間見てもらえる施設に変わった方、急逝の方など。

■えびすの特徴

当初は介護予防の方が多かったが、そこから継続利用されている中で、次第に
介護対象者となってきた。介護予防の方は3人ほどになっている。

●活動内容

手芸・音楽・体操・脳トレ・ゲーム・買い物
お花見ツア（外食） 体力測定（脚力・握力・噛む力など）
内職補助（DM折込） 移動販売車依頼など

- ・昔やっていた手芸、体操、脳トレ、 Baba抜きなどやって楽しんでいただいている。 Baba抜きは毎日やっているが、みなさんとても楽しまれて、いつも大きな笑い声が出ている。帰宅送迎中の会話でも、「今日もよく笑った」と楽しげ。
- ・4月にお花見ドライブ開催。益田市役所前にフルール益田が「F F うどん屋」をオープンしたのでドライブがてら食べに行った。みなさん美味しかったと喜んでいただけた。
- ・脚力など体力測定を隣接のふるーるきっずの長い廊下を利用して実施。噛む力の検査などで皆さんの状態を把握、今後の活動内容や食事に反映させていく。
- ・フルールで毎月折込発送物があり、その折込作業を手伝っていただいているが、手が早い。みなさん集中力がある。
- ・月2回ローソンの移動販売に来てもらっている。以前は外に駐車する移動販売車に買い物に出ていたが、施設内に運んで販売する形に変えてもらった。外に出にくい方も買いやすくなかった。

●事故報告 2件

- ・公民館で転倒事故
- ・4月の下旬に送迎中居眠り運転で路肩に落ちる。1名圧迫骨折。自力歩行できるようになったが、自宅改修がまだ。
- ・再発防止対策：法人内で初めてのこと。事故後法人内で検証して、運行管理者を設定。

<事故後の対応>

安全講習会の開催

当事者はえびすの業務から離している

理事長からの指示で法人全体の取り組みとしている。

運行前チェック、マニュアル作成などに取り組んでいる。

ご本人回復、自宅改修も保険で対応している。他の2名は異状なかった。

ご家族への周知に関して、皆さんの許可をいただきてみなさんに事故の報告を配布してお知らせした。

●その他の活動

- ・移動支援（タクシー業）通院補助、買い物補助
(現在えびす利用者のみに限定)
- ・SNSの活用（インスタグラム）
益田自立支援センターのインスタグラムで、各事業所の活動内容を定期的に発信。

4. 質疑応答、意見交換

●地域より

<事故について>

- ・自分も安全運転管理者の経験がある。
肝心なのは日頃の声かけ、注意喚起が重要。これに尽くると思っている。
- ・デイサービスの送迎中の事故は全国で起こっている。担当スタッフに声をかけるのが重要。

<利用者拡大について>

- ・地域でデイサービスの利用を拒む方などに対して積極的に働きかけることはしているのか。
- ・情報発信が大切。

●利用者家族より

- ・母はえびすで楽しくやっているようだ。

●高齢者福祉課より

- ・事故については、事業所内の実情に応じて対応していただければいい。
市役所内の機構改革 新しい課ができている。利用いただきたい。

●施設より

- ・えびすを現在の場所に移転する前は不安を持たれていたが、明るく開放的な雰囲気で、やってみたら評判が良かった。
施設が国道沿いに出たので、えびすの存在を知つてもらう機会が増え、見学者が増えた。
- ・利用拡大については、まずは包括支援センターが窓口になっている。
一般的なデイサービスに対するイメージが良くないので、まずは見学していただくと、えびすの家庭的な雰囲気に安心されて利用につながっている。
- ・これまで口コミだったが、今は民生委員など行政からのアプローチが増えている。実際の認知機能と介護認定の差がある。実際に合わせて介護度が上がると利用者さんも利用しやすくなると思っている。
- ・ふるーるきっずの開所式でのもち撒きのものは、えびすの皆さんに作っていただいた。フルール益田の利用者と一緒にやった。えびすの利用者の方で90才を超えた方に声を掛けたら自分で割烹着をもってきて張り切ってやってくれた。
- ・また、送迎時、フルール益田のB型支援の利用者と一緒にになることがあるが、若い人と一緒だと元気が出ると喜んでいただいているのでいい効果がある。
- ・介護予防の観点で利用いただけるようになっていったらいいと思っている。

次回開催 12月